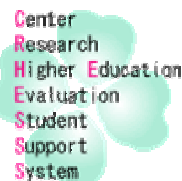


# 週刊センターニュース No.1



第1号(2004年3月15日)毎週月曜日発行  
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター  
URL: [http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou\\_rche/index.htm](http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm)

## センター教員の紹介

大学教育研究開発部門 西山宣昭(助教授)  
評価システム研究部門 早田幸政(教授)  
教育支援システム研究部門 青野透(教授)、堀井祐介(助教授)

## 全学一致団結した教育改革に向けて

私語もなく学生は真剣に聞き入っている。内容も十分伝わったと肌で感じる。教師である私たちはだれしもそんな授業ができないものかと努力します。しかし現実には厳しいものです。いくつかの大学での新入生アンケートの最新の分析によると、3~4割の学生が将来の進路希望、目的を明確に持たず入学した、あるいは志望大学、志望学部ではなく不本意に入学したと答えています。学習指導要領の内容削減や、ここ20年来の社会情勢の激しい変化など、理由はどうであれ、私たちは目標を見出しきれていない学生の動機付けを支援し、自立的な課題発見、問題解決能力を育成する責務を負っていると思います。

大学教育開発・支援センターは、平成15年4月1日に全学一体の教育改革推進の拠点として、省令設置されました。教員個人レベルでの授業改善の取り組み、教養教育機構、学部などそれぞれの組織でのカリキュラム改革、FD活動が行われてきましたが、それら各々の活動を統合し、情報を共有できるシステム作りを行っていきます。また、動機付けや教養教育、専門教育、大学院教育の連携のためにいかなるカリキュラム、授業設計、FD活動が必要か、学習面ばかりでなく内面に抱える問題に対してどのような学生支援が必要かについて、全学一体での議論を深めていく予定です。さらに、教育改革のプロセスをモニターし、フィードバックさせるために必要な評価システムについても提言します。全学一致団結した教育改革の推進に向けて、センター教員一同全力を注いで参りますので、ご支援の程よろしくお願いいたします。(文責: 西山宣昭)

## 共同学習会のご案内

具体的な教育改善の方策について全学横断的に自由に議論できる場として、共同学習会を企画しました。第1回から第10回までの予定は、以下の通りです。第11回からは、4月以降、毎週木曜日5限目に行います。ホームページに予定を掲載します。アイデア、ご提案を随時受け付けます。

- 第1回~第10回 開催場所: 総合教育棟南棟2階 A11演習室
- 3月22日(月) 10:30~12:00(第1回)、13:30~15:00(第2回)
- 第1回「高等学校社会における授業の工夫 - 文系編 その1 -」山本吉次(教育学部附属高校)
- 第2回「高等学校社会における授業の工夫 - 文系編 その2 -」山本吉次
- 3月23日(火) 10:30~12:00(第3回)、13:30~15:00(第4回)
- 第3回「パワーポイントを活用したWeb対応教材作成」堀井祐介(大学教育開発・支援センター)
- 第4回「授業でのパワーポイント活用法」堀井祐介
- 3月24日(水) 10:30~12:00(第5回)、13:30~15:00(第6回)
- 第5回「インターネットを用いた授業素材の収集」西山宣昭(大学教育開発・支援センター)
- 第6回「先端研究から授業へ 一つの試案」西山宣昭
- 3月25日(木) 10:30~12:00(第7回)、13:30~15:00(第8回)
- 第7回「学生募集戦略」入澤充(東京女子体育大学)
- 第8回「大学広報と教職員の役割」入澤充
- 3月26日(金) 10:30~12:00(第9回)、13:30~15:00(第10回)
- 第9回「板書法の工夫 - 理科学目編 その1 -」榎田豪利(教育学部附属高校)
- 第10回「板書法の工夫 - 理科学目編 その2 -」榎田豪利

## 第1回金沢大学大学教育セミナーを終えて

「学生の立場からの教育改革」をテーマに、3月1日、第1回金沢大学大学教育セミナーが開催されました。大南正瑛先生(前)立命館大学総長、京都橘女子大学学長)には「いま日本の高等教育に思うこと」について講演していただきました。講演を通してのキーワードは、「自立」、「国際水準」であったと思

ます。国立大学法人化、評価の時代にあつて、追求すべきは国際的水準の大学教育の質であり、それは外圧によるのではなく大学自ら創意工夫すべきであること、また評価は教育研究と一体のものであり、その開発もまた基本的には自ら発展させるべきであるとの主張を述べられました。

講演に続いて3人の方に授業実践の報告をしていただきました。森透先生（福井大学教育地域科学部）には、10年に及ぶ2つの教員養成プロジェクトの実践についてご報告いただきました。この取り組みは、平成15年度特色ある大学教育支援プログラムに採択されています。学生が地域の不登校児と密に接し、その内容を授業に持ち帰り議論し、これを繰り返すライフパートナー活動。地域の子供たちとともにテーマを決めて活動する探求プロジェクト。これらのプロジェクトでは、その企画、運営は学生により主体的に行われ、また学部の1年次からのコアカリキュラムに組み込まれています。入学直後からの強い動機付けが期待され、他学部での導入教育に対するヒントを与えているように思えます。本学工学部の藤田政之先生の授業実践は、シラバス、毎回の授業内容（ビデオ取りされている）、宿題、レポート、授業アンケート、試験など連絡事項、それら授業のすべてをウェブ上に掲載するというものです。コンピュータを活用することによって学生との緊密なやりとりが可能になるという利点以上に、授業の中身に対する十分な吟味、精密な設計が必要であるとの主張が隠されていたのだと思います。当センターの青野は、ミニッツペーパーを活用した教育改善について報告しました。ミニッツペーパーは、授業の終わりに最も重要と思われる内容を数分間で学生にまとめさせるものです。これを慣習化させることにより、学生は毎回の授業に自然に動機付けられることとなります。また、短い時間で要点を抽出する訓練ともなります。学生の心理をつかみ授業に引き込む有効な手段の一つと思われました。

3人の実践報告に続いて、総括する目的でシンポジウムが行われました。各大学の大学教育センターや、大学評価・学位授与機構、大学基準協会、JABEE など評価機関からお招きしたゲストの先生方も交えて、活発な討論が行われました。今後も、金沢大学の改革について情報を共有し、議論する場でありたいと考えています。（文責：西山宣昭）

## センター教員活動記録（2月1日～3月14日分）

- 2004.2.2 講演会「立命館大学における教育評価システムの構築」参加  
（主催：名古屋大学高等教育研究センター）（西山、校費出張）
- 2004.2.6 第3回金沢大学フォーラム（主催：大学教育開発・支援センター）
- 2004.2.9 金沢大学教養教育機構公開講演会「大学におけるポートフォリオ活用法」参加  
（青野、早田、堀井、西山）
- 2004.2.16 e-Learning Solution Seminar in Osaka - 大学・大学院教育と e-Learning - 参加  
（主催：東通産業）会場：大阪市立総合生涯学習センター（堀井）
- 2004.2.19 金沢大学「双方向遠隔授業システム」プロジェクトチーム会議参加  
（青野、堀井、西山）
- 2004.2.21 金沢大学理学部 FD シンポジウム参加（青野、堀井）
- 2004.2.23 大阪大学教員 FD セミナー「国際的スタンダードに適った授業とは：必要とされる工夫・改善とノウハウ」参加（堀井）
- 2004.2.24 京都大学学術情報メディアセンターへ調査訪問（堀井）
- 2004.2.27 京都大学高等教育研究開発推進センターへ調査訪問（西山、校費出張）
- 2004.2.28-29 第9回 FD フォーラム、第1回高大連携教育フォーラムへ参加  
（主催：（財）大学コンソーシアム京都）会場：龍谷大学、キャンパスプラザ京都  
（堀井、西山、校費出張）
- 2004.3.4 金沢大学文学部 FD 研究会参加（堀井、西山）
- 2004.3.8-10 青山学院大学メディアラボプロジェクト事務局へ調査訪問  
東京工業大学「大規模知識資源 国際シンポジウム」参加  
（主催：21世紀 COE プログラム「大規模知識資源の体系化と活用基盤構築」拠点）  
日英高等教育に関する協力プログラム公開セミナー「英国の教育評価の展開と将来」参加  
（主催：大学評価・学位授与機構）会場：如水会館  
東京学芸大学教育学部、大学基準協会へ調査訪問（以上、早田、堀井、校費出張）
- 2004.3.9 金沢大学工学部第5回教育方法改善シンポジウム参加（青野、西山）
- 2004.3.10 平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」説明会へ参加  
（主催：文部科学省）大阪会場：アピオ大阪（青野、校費出張）
- 2004.3.13 第2回金沢大学 FD 研究集会「教育方法の改善 “厳格な成績評価を巡って”」参加  
（青野、堀井、西山）